

## 令和6年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の自立と社会参加を目指した教育活動を実践する。</li> <li>・ICT機器等の有効利用による多様な授業の研究・研修を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業改善につながる研究を重ね、よい授業実践につなげる。</li> <li>②ICT機器を活用した多様な授業実践ができるように土台作りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業実践に生きる研究の充実を図る。</li> <li>②児童・生徒がルールやマナーを守って、適切にICT機器を使用できるよう、情報リテラシー教育に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①研究したことを授業実践に生かすことができたか。発信することができたか。</li> <li>②情報リテラシー教育を推進し、児童・生徒が決まりを守って機器を利用することが出来るようになったか。</li> </ul>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒一人ひとりの個性や医療状況を尊重し、教育的ニーズに応じた指導・支援を組織的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自尊感情を育み自分や他者を大切に教育に取り組む。</li> <li>②個別教育計画を共有し、児童・生徒の指導・支援の有効なツールとなるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①児童・生徒の自己理解、他者理解をすすめ、コミュニケーション力の育成に努める。</li> <li>②書式の検討も含め、個別教育計画をツールとして、特に目標とすることを共有する仕組みづくりを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①児童・生徒が理解協力する教育活動の場を作ることができたか。</li> <li>②個別教育計画を共有する仕組みを作り共有できたか。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の生活の充実を目指し、進路指導、移行支援、キャリア教育を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地元校の指導を引き継いで児童・生徒が主体的に自己選択・自己決定できるようにする。</li> <li>②一人ひとりに応じた進路指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①キャリアパスポートの作成や地元校への引継ぎについて実践を重ねる。</li> <li>②地元校と連携しつつ、病院とも連携し、児童・生徒の状況に合わせた適切な進路指導を行うとともに、学部全体で情報共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①キャリアパスポートを引き継いで積み重ねることができたか。</li> <li>②地元校や病院と連携して適切な進路指導ができたか、学部で共有できたか。</li> </ul>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病弱教育に関する理解・啓発を図り、児童・生徒の地域生活が豊かになるよう支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校の情報や研修会等の発信を行い、病弱教育についての理解が広がるようにする。</li> <li>②児童・生徒が学校生活や地域生活に円滑に移行し継続できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ホームページの充実や研修研究の発信、支援冊子の改訂・周知等で病弱教育の理解をすすめる。</li> <li>②復学支援会議等を丁寧に行うとともに、フォローアップの仕組みを模索し、円滑な地域生活が継続できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①病弱教育についての情発信し、病弱教育理解に貢献できたか。</li> <li>②復学支援会議とフォローアップにより円滑な地域生活の継続を支援できたか。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が同僚性を発揮して質の高い教育を展開する。</li> <li>・児童・生徒と向き合う時間を確保するために、働き方改革を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①校内外の協働により、安全安心な教育の場を作る。</li> <li>②カリキュラムマネジメントを継続しながら、全教職員が協力して教育に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①引き続き新型コロナウイルス感染症対策に取り組む他、不祥事・事故防止を図り、安全安心な教育を行う。</li> <li>②時間を有効に使うとともに、学部・部門、職種を超えた協力体制により、組織的な教育活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①病院や校内の多職種と協働しての新型コロナウイルス感染防止対策や不祥事・事故防止に取り組めたか。</li> <li>②時間の有効活用ができたか、協力体制による教育を行うことができたか。</li> </ul>

